

カリキュラム

機構施設名： 奈良職業能力開発促進センター
実施機関名： 一般財団法人 南都経済研究所

バックオフィス		企業価値を上げるための財務管理		
財務管理				
コースのねらい		財務の概念と財務諸表の構造を知り、コスト、資金管理、財務分析の手法を理解することで、企業価値を上げるための財務管理に関する知識を習得する。		
講義 内容	「基本項目」		「主な内容」	訓練時間 (H)
	1	財務の概念と財務諸表	(1) 決算書の基本を理解するコツ 決算書の役割や読みこなすためのポイントを解説する。 (2) 貸借対照表の仕組みと読み方 貸借対照表の仕組みと読み方について解説する。資産と負債、ヨコのバランスについて理解を深める。 (3) 損益計算書の仕組みと読み方 損益計算書の仕組みと読み方について解説する。3つの収益、5つの費用、5つの利益について理解を深める。 (4) キャッシュフロー計算書の仕組みと読み方 キャッシュフロー計算書の仕組みと読み方について解説する。3つのキャッシュフローについて理解を深める。	2.0
	2	コストと資金管理	(1) 資金繰り管理のポイント コストコントロールに向けての資金繰り管理のポイントについて解説する。 (2) 資金繰り表の役割とポイント 資金繰り表の役割と、おさえておきたい資金繰り表のポイントについて解説する。 (3) 資金繰り難を引き起こしている原因 資金繰り難を引き起こす一般的な原因を解説した後、自社の抱える問題を考察してもらう。【演習】 (4) 資金繰りを改善するために 資金繰りを改善させる方法例を解説した後、自社の抱える問題への解決策を考察してもらう。【演習】	2.0
	3	財務分析と財務計画	(1) 決算書を戦略的に読む 経営者が見る決算書のポイントと専門家が見る決算書のポイントの違いについて解説する。 (2) 財務分析のポイント 必ず押さえておきたい財務指標や損益分岐点のポイントについて解説する。 (3) CF 計算書を経営に活かす CF 計算書の主なパターンを知ってもらい、資金不測の兆候の見つけ方を習得させる。また、利益とCFの違いを実感していただく。	2.0
合計時間				6.0

カリキュラム作成のポイント
決算書の読み方を基礎から応用まで幅広く学び、財務 3 表の繋がりを理解するとともに、財務分析や資金繰り管理を通して経営に活かせるよう実践的な内容としている。